1．各会計予算総括表

（単位：百万円）

会計別		平成２４年度		平成２３年度		比較	
		予算額（当初）（A）	構成比(%)	予算額(6月補正後)(B)	構成比(%)	増△減(A)－(B)＝(C)	伸率(%)(C)/(B)
一般会計		42,322	52.0	42,237	51.9	85	0.2
特別会計	国保会計	11,385	14.0	11,358	14.0	27	0.2
	介護会計	6,748	8.3	6,201	7.6	547	8.8
	後期高齢会計	1,402	1.7	1,317	1.6	85	6.5
	計	19,535	24.0	18,876	23.2	659	3.5
企業会計	水道会計	2,851	3.5	2,864	3.5	△ 13	△ 0.5
	工水会計	11		19		△ 8	△ 42.1
	病院会計	12,072	14.8	12,957	15.9	△ 885	△ 6.8
	市場会計	259	0.3	261	0.3	△ 2	△ 0.8
	港湾会計	220	0.3	241	0.3	△ 21	△ 8.7
	下水道会計	4,174	5.1	3,947	4.8	227	5.8
	計	19,587	24.0	20,288	24.9	△ 701	△ 3.5
総計		81,444	100.0	81,400	100.0	44	0.1

※構成比については、四捨五入の関係で合計と一致しない場合がある

2. 主な施策（一般会計、特別会計、企業会計）

事業名	款		H24事業費	説明
1 子どもからお年寄りまで安心して希望のもてるまち				
一人暮らしのお年寄りや障がい者が安心できる環境づくり				
① 緊急通報システム事業	民生費	〈拡充〉	816 万円	・高齢者 ・設置世帯数：300世帯（既設170世帯＋増設130世帯） ・設置要件〈拡充〉 年齢：65歳以上 世帯：ひとり暮らし又は高齢者のみ世帯 身体の状況：病気がちで虚弱かつ緊急時に通報が困難と認められる者 ・障害者 ・設置世帯数：34世帯 ・設置要件 世帯：ひとり暮らし 身体の状況：身体障害1～2級に該当する者かつ緊急時に通報が困難と認められる者
② 介護保険制度	介護会計		－	第５期介護保険事業計画(H24～H26) ・介護報酬　1.2%　引上げ （介護従事者の処遇改善、地域包括ケアの推進を図る） ・保険料の改定 介護準備基金・財政安定化基金交付金を充当し、上昇を抑制 （保険料基準額　9.52%　アップ）
③ 地域包括支援センターの体制強化	介護会計	〈拡充〉	9,200 万円	・地域包括支援センター配置職員の基準を見直しし、各施設1名づつ職員を加配、体制強化。（3名→4名） ・増加、多様化する様々な相談に対応し安心・安全な高齢福祉施策の推進を図る。 地域包括支援センター：白鳥ハイツ、母恋、ことぶき、憩 ※住み慣れた地域で安心して生活できるよう、専門スタッフにより相談・支援を行う。
④ 地域福祉ふれあい事業	民生費		1,418 万円	・緊急情報記録票配布 緊急対応時において必要な、緊急連絡先やかかりつけ医療機関の情報記入票を配布 対象：65歳以上の要支援者等 ・路線バス「高齢者割引パス」助成 価格4,500円(1ヵ月)の3市乗車可能パスに対し800円を助成 対象：70歳以上の高齢者 ・ボランティア団体活動費助成 ・自動消火器設置、訪問サービス助成　ほか
⑤ えみなメイト（介護予防事業）	介護会計		303 万円	・65歳以上の高齢者を対象に、介護予防機能の強化・充実を図り、要介護状態への移行を防止 ・会場数：26ヵ所（新規開設予定4ヵ所を含む） ・運動(はぴらん体操等)、口腔機能向上、栄養改善　ほか
⑥ 障害者支援事業	民生費	〈拡充〉	19 億　9,808 万円	・障害者自立支援給付（18億8,445万円） 障害者の自立を支援 グループホーム等家賃助成、同行援護　ほか ・障害者地域生活支援（1億694万円） 地域の特性や利用者状況に応じた柔軟な支援 基幹相談支援センター設置（新規）、 手話通訳者広域派遣（新規） 声の広報むろらん等ＣＤ化対応〈新規〉 要約筆記奉仕員養成事業〈新規〉　ほか ・他の障害者自立支援事業（669万円） 市単独施策 交通費助成、緊急通報システム設置【再掲】　ほか
⑦ 障害者活動支援施設整備	民生費	〈新規〉	1,181 万円	・あけぼの花卉栽培所改修 ビニールハウス増設、更衣室・トイレ増築　ほか
⑧ ろうあ児施設改築費償還補助金	民生費	〈新規〉	228 万円	・ろうあ児施設「室蘭言泉学園」建替資金借入金の償還に対し補助債務負担行為設定：4,510万円（H25～H43）

事　業　名	款		H24事業費	説　明
⑨ 保育所民営化	民生費	〈拡充〉	―	・H24.4月から高砂・水元保育所を民営化 公立：2ヵ所（H23：4ヵ所） 私立：9ヵ所（H23：7ヵ所） ※高砂・水元統合保育所：H25.4月開設予定
⑩ 特別保育	民生費	〈拡充〉	1 億　2,104 万円	・一時保育 就労･在籍の要件なし(保護者の病気や育児疲れも対象) 東町保育所、常盤保育所(日曜･祝日も実施)、 中島保育所（定員各5人） ・休日保育 日曜・祝日の保育　市内保育所の在籍児童が対象 常盤保育所、中島保育所 ・障害児保育 全保育所で実施（定員各3人） ・延長保育 全保育所で実施（18:30～19:30） ・自園型病児保育〈拡充〉 保育中の体調不良児が対象 東町保育所、港北保育所（新規） ・病後児保育 病気の回復期にあり、集団保育等が困難な児童が対象 日鋼記念病院に委託（定員2名：8:00～18:00） ・乳児保育 産後休暇明け(生後57日目以降)の乳児を受け入れ 水元保育所を除く全保育所で実施
⑪ ヘルパー派遣 （ひとり親家庭等・ 産前産後ママ）	民生費	〈拡充〉	30 万円	・ひとり親家庭等（延59世帯、20万円） （要件：疾病、看護等） 利用時間を8：00～18：00 → 8：00～19：00に拡大 ・産前産後ママ（延30世帯、10万円） （要件：産前産後の体調不良等） 利用時間を8：00～18：00 → 8：00～19：00に拡大 利用期間を産後1ヵ月以内10日 → 産前産後3ヵ月以内20日に拡大
⑫ 認可外保育施設助成	民生費		12 万円	・幼児等の健康、衛生、安全管理などにかかわる経費への助成 助成対象：1施設
⑬ 子育て支援センター 運営	民生費		3,359 万円	・常盤保育所、中島保育所
⑭ つどいの広場運営管理 （サンキッズ）	民生費		751 万円	・乳幼児保護者等の「語らい・相談」などを通じ、地域における 子育て支援の場を提供 週3日開設（月・水・金曜日）10：00～16：00 ※H22.11月開設
⑮ 子どものための手当	民生費		13 億　2,208 万円	・中学校修了まで支給 子ども１人につき 3歳未満：月額1万5,000円 3歳以上～小学生：第1～2子月額1万円 第3子以降月額1万5,000円 中学生：月額1万円 所得超過者：上記区分にかかわらず月額5,000円（H24.6月分以降）
⑯ にじいろクラブ運営 （母子保健事業）	衛生費		20 万円	・1歳6ヵ月児健診等において、ことばの遅れ等の疑いのある幼児や 育児不安のある親を対象に実施。小集団遊び等を通して、専門ス タッフによる相談・評価等を行い、3歳以降の的確な支援につなげ る。 開設：H23.9月 対象：1歳6ヵ月児～3歳未満の親子 会場：サンキッズ（保健センター5階） 日程：火・木曜日 10時～11時30分 スタッフ：臨床発達心理士1名、保育士1名、保健師2名
⑰ 放課後児童対策	教育費		1 億　5,065 万円	・児童クラブ4ヵ所 絵鞆、海陽(2教室）、八丁平、白鳥台 ・スクール児童館9ヵ所 武揚、地球岬、大沢、高砂、水元、知利別(2教室）、 旭ヶ丘、本輪西、本室蘭 ・児童センター3ヵ所（蘭北を除く） 港南、蘭中、港北
⑱ こどもを守る総合対策	総務費 教育費		215 万円	・子供を守る運動として組織化された地域団体等へ支援品を貸与 ・子どもを守る家のぼり等配布 ・防犯ブザー給付 小学校新入学児童及び市外からの転入児童等

事　業　名	款		H24事業費	説　明
⑲ 消費生活行政の推進	総務費	〈拡充〉	18 万円	・消費者被害防止ネットワーク設立に向けたフォーラム開催　ほか
⑳ 公衆浴場確保対策補助	衛生費		269 万円	・公衆浴場確保対策 平均入浴客数 50%未満：補助単価30万円、60%未満：補助単価21万円 70%未満：補助単価14万円、80%未満：補助単価 9万円 80%以上：補助単価 3万円
コミュニティ交通事業の取り組み				
① 地域コミュニティ交通事業	総務費		430 万円	・先行検討2地区における実態･ニーズ把握調査等の実施
地域医療連携と地域に見合った医療供給体制の構築				
① 国民健康保険加入者の肺がん検診無料化	国保会計	〈新規〉	432 万円	・肺がん検診の自己負担の無料化
② 口腔がん検診普及推進事業	衛生費	〈新規〉	35 万円	・西胆振管内3市3町による普及推進事業として、口腔がん検診を実施 対象：西胆振管内3市3町在住の20歳以上の者 日程：年1回 従事医師：日本口腔外科学会専門医 定員：80名程度 参加者負担金：無料
③ 医療助成	民生費		5 億　1,295 万円	・乳幼児等（1億558万円） 小学校入学前まで 入院及び通院等の費用の一部を助成 小学生 入院、訪問看護費用のみ一部を助成 ・重度心身障害者（3億6,214万円） 入院及び通院等の費用の一部を助成 ・ひとり親家庭（4,523万円） 児童等 入院及び通院等の費用の一部を助成 保護者 入院費用のみ一部を助成
④ 健康増進法に基づく各種健診推進事業	衛生費		5,442 万円	・健康診査 生活保護受給者分及び後期高齢者の自己負担分等助成 ・各種検診 肺がん、前立腺がん、胃がん、大腸がん、子宮がん、乳がん、肝炎ウイルス、骨粗鬆症、歯周疾患
⑤ 肝炎ウイルス検診推進事業	衛生費		1,210 万円	・肝炎ウイルス検診費用の無料化 対象検診年齢 40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳 受診見込者数 2,773人（受診率30%）
⑥ がん検診推進事業	衛生費		2,283 万円	・子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診費用の無料化 対象検診年齢 子宮頸がん　：20歳、25歳、30歳、35歳、40歳 乳　が　ん　：40歳、45歳、50歳、55歳、60歳 大 腸 が ん：40歳、45歳、50歳、55歳、60歳 受診対象者数 子宮頸がん　：　705人 乳　が　ん　：　896人 大 腸 が ん：1,777人
⑦ 子宮頸がん等ワクチン接種事業	衛生費		8,577 万円	・子宮頸がん 対象者：中学校1年生～高校1年生までの女子生徒 接種回数：3回 ・ヒブ、小児用肺炎球菌 対象者：2ヵ月～5歳未満までの乳幼児 接種回数：1～4回
⑧ 妊婦健診推進事業	衛生費		4,675 万円	・妊婦健診への公費負担 一般健診14回、超音波検査4回 （対象者見込640人）

事　業　名	款		H24事業費	説　明
⑨ 予防接種事業	衛生費		1 億　1,174 万円	・予防接種法に基づき予防接種を実施 3種混合、2種混合、麻しん、風しん、 インフルエンザ（高齢者接種、低所得者接種助成）
⑩ 特定健康診査、 健康増進等事業	国保会計 後期高齢者 医療会計		1 億　2,843 万円	・特定健康診査 対象：国保加入者（40歳以上74歳以下） 後期高齢加入者（75歳以上） （受診者自己負担なし） ・人間ドック 対象：国保加入者・後期高齢加入者 （受診者自己負担5,000円） ・ミニドック（バス健診車を利用した巡回健診　H23～） 対象：国保加入者・後期高齢加入者 （受診者自己負担2,500円） ・脳ドック 対象：国保加入者（40歳以上70歳以下） （受診者自己負担7,000円） ・温水プール利用助成（利用料の半額を助成） 対象：国保加入者・後期高齢加入者
⑪ 救急医療対策等	衛生費		5,176 万円	・休日、夜間等の救急医療確保 一次救急（5病院、対象区域：室蘭・登別） 二次救急（7病院、対象区域：室蘭・登別・伊達・洞爺湖・ 豊浦・壮瞥） 小児二次救急（2病院、対象区域：室蘭・登別・伊達・ 洞爺湖・豊浦・壮瞥） ・休日等の歯科救急医療確保
⑫ 救急業務の高度化に 向けた取組	消防費		569 万円	・救急救命士の薬剤投与などの資格取得、研修
⑬ 市立病院医療機器更新	病院会計		3 億　2,000 万円	・高度医療機器購入 ＭＲＩ、透析装置　ほか
⑭ 市立病院施設整備	病院会計		8,200 万円	・ボイラー用煙突の改修 ・旧救急外来のＭＲＩ室への改造 ・市立病院駐車場ゲート増設
災害に強いまちづくり				
① 南高平川整備	土木費	〈新規〉	5,100 万円	・大雨による河川氾濫の防止 全体計画：H23～H26　　延長 900m 〈H24〉 地質調査、詳細設計、河川改修（延長 280m）
② 輪西地区大雨災害対策	土木費	〈新規〉	80 万円	・輪西地区の大雨時における浸水メカニズムと中長期的な災害対策について、室工大と共同研究を実施
③ 民間特定建築物耐震 診断補助	土木費	〈新規〉	1,800 万円	・H21.3月策定の「耐震改修促進計画」に基づき、民間施設の耐震化を促進するため、耐震診断に要する経費に対し補助 対象施設：災害時要援護施設（学校・病院） 補助割合：補助対象経費の2/3以内（上限200万円）
④ 緊急輸送道路沿道建築 物調査等委託 （※緊急雇用）	土木費	〈新規〉	422 万円	・「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の規定により、耐震診断の努力義務が課せられている特定建築物の一つである緊急輸送道路沿道建築物の現地調査及び耐震診断の意向調査を実施
⑤ 公設地方卸売市場 耐震診断	市場会計	〈新規〉	1,928 万円	・耐震診断を実施 青果・水産棟、地場そ菜売場、追直卸売場
⑥ 消防救急無線デジタル 化	消防費	〈新規〉	2,854 万円	・消防救急無線のデジタル化に伴う整備 H24:電波伝搬調査、基本設計、実施設計 H25以降：整備（2ヵ年）
⑦ ハザードマップ改訂 （※定住自立圏）	総務費	〈新規〉	862 万円	・北海道が示す津波浸水予測を盛り込んだ改訂版ハザードマップ作成 ・住民への地区別津波避難計画に関する説明会開催
⑧ 広域避難場所看板等 設置 （※定住自立圏）	総務費		264 万円	・避難場所への周知看板の設置（227万円） ・各地区主要幹線道路等への海抜（標高）表示板の設置（37万円）

事　業　名	款		H24事業費	説　明
⑨ 災害応急用及び自主防災組織資機材整備	総務費		67 万円	・自主防災組織資機材整備費補助金（48万円） 地域の自主的な防災活動を支援するため、自主防災組織（町会等）が購入する防災活動に要する資機材に対し補助 組織数：31団体（H24設立予定：9団体） ・町内会等自主防災組織への災害対応土嚢配備（19万円） 災害時の地域住民による早期対応を促進するため、町会・自主防災組織等に配布する災害対応土嚢を配備
⑩ 消防機動力・資機材整備事業	消防費		6,883 万円	・化学消防ポンプ自動車更新（5,271万円） ・資機材搬送車更新（1,565万円） ・水難救助資機材購入（47万円）
世界に通じる子どもたちの育成				
① 姉妹都市等交流事業	総務費		599 万円	・ノックスビル市中学生派遣 H24年10月下旬予定 ・日照市からの中学生訪問団歓迎 H24年8月下旬予定 ・宮古島市からの小学生訪問団歓迎 H25年1月中旬予定
教育環境の整備				
① 高平・本輪西小学校統合整備	教育費	〈新規〉	4,683 万円	・H24：基本設計、耐震診断、補強設計、測量調査、なかよし橋設計 ・H25：改修設計、外構設計、なかよし橋改修 ・H26：校舎棟･屋体棟改修、太陽光発電整備 ・H27：校舎棟改修、外構･グラウンド整備、備品購入 ・H28：開校
② 中学校備品整備	教育費	〈拡充〉	873 万円	・東明中学校、港北中学校、本室蘭中学校の備品整備 H24：生徒用机･椅子の整備
③ スクールバス運行	教育費	〈拡充〉	7,126 万円	・遠距離通学をしている児童生徒の登下校時の安全確保、及び経済負担の軽減を図るためスクールバスを運行 ・基準：小学校2km以上、中学校3km以上 〈拡充〉 ・中学校休業日の部活便（路線バスを利用）
④ 学力向上研究事業	教育費	〈拡充〉	950 万円	・標準学力検査実施（全小3・小5、全中2） ・奨励校（2校）での調査、研究 ・学習支援員（4名）配置〈拡充〉1名→4名 放課後の個別支援学習、授業時間中の支援　ほか
⑤ 小・中学校フッ化物洗口経費	教育費	〈拡充〉	384 万円	・北海道歯・口腔の健康づくり8020推進条例(H21.6月施行)に基づき、H24から全校実施（小学校18校、中学校8校） （H23先行実施：小学校6校、中学校1校）
⑥ 室蘭西中学校建設（北辰・港南統合中学校）	教育費		10 億　9,299 万円	・H22：測量調査、地質調査、耐力度調査、実施設計 ・H23：校舎棟(40%)･屋体棟(40%)建設 ・H24：校舎棟(60%)･屋体棟(60%)建設、 太陽光発電整備、外構整備、備品購入 ・H25：開校　旧北辰中解体、グラウンド整備
⑦ 絵鞆・桜が丘・武揚小学校統合新設校建設	教育費		7,514 万円	・H23：基本設計、測量調査 ・H24：地質調査、実施設計 ・H25：旧校舎解体、校舎棟(30%)･屋体棟(30%)建設 ・H26：校舎棟(70%)･屋体棟(70%)建設、 太陽光発電整備、外構･グラウンド整備、備品購入 ・H27：開校
⑧ 学校環境整備	教育費		9,867 万円	・学校各所修繕･改修 ・屋上防水改修（小学校1校） ・グラウンドフェンス改修（中学校1校） ・グラウンド整備（小学校7校、中学校2校）
⑨ 適応指導教室運営	教育費		2,292 万円	・不登校児童・生徒への対応 設置箇所：白鳥台、知利別、武揚小学校 人員配置：教育研究推進員等3名 不登校訪問アドバイザー4名、 学習支援員3名

事　業　名	款		H24事業費	説　明
⑩ 私学振興等補助金	教育費		1 億　1,881 万円	・振興補助（教材整備等） 北斗文化学園　300万円 大谷高等学校　700万円 海星学院高等学校　600万円 私立幼稚園協会　550万円（1園当り50万円） ・大規模施設整備補助 八丁平美園幼稚園　500万円 ベネディクト幼稚園　500万円 ・就園奨励費補助 事業費　：8,731万円 対象人員：841人
子ども読書環境の整備				
① 親子読書ふれあい事業（ブックスタート）	教育費	〈新規〉	94 万円	・より多くの保護者に読書への興味を持ってもらい、家庭での読書環境整備に向けた支援を実施 ・対象：乳児及び保護者 ・毎月2回実施（4ヵ月乳児健診とあわせて実施） ・ボランティア等による読み聞かせの実施 ・読み聞かせ後、図書館司書から絵本、イラストアドバイス集を配布
都市基盤の充実				
① 市営住宅共同浴場整備	土木費	〈新規〉	9,000 万円	・建設予定地：白鳥台2丁目8番9号（市道白鳥台2丁目通線沿い） ・構造規模　：鉄骨造平家建 ・延床面積　：245.96㎡ ・主要設備　：浴室、脱衣室、トイレ、ホール　ほか ・駐車場　：16台（うち身障者用2台） ・共用開始　：H24.11月予定 ※準ＰＦＩ方式により施設を建設後、市が買い取り、指定管理者制度により運営予定
② 追直漁港沖合人工島（Mランド）漁港機能高度利用化促進事業	農林水産業費	〈新規〉	1 億　7,525 万円	・市整備事業（4,531万円） 橋梁部分漁業用水管敷設　延長450m ・漁業協同組合整備事業への補助（1億2,994万円） 整備内容：給排水設備、海水取水設備、ホタテ桁整備　ほか
③ 橋梁長寿命化計画策定	土木費	〈新規〉	1,000 万円	・長寿命化のための維持管理、修繕計画等の策定
④ チマイベツ川用水路整備	農林水産業費	〈新規〉	900 万円	・道の河川改修事業に併せて、用水路を整備（延長170m　石川町）
⑤ 道道中央東線整備	土木費	〈新規〉	1 億　5,720 万円	〈北海道からの受託事業〉 事業期間：H23～H25 ・用地買収等（H24） 用地買収 4件、補償件数 5件
⑥ 道路整備	土木費		5 億　2,676 万円	・社会資本整備総合交付金事業（7,600万円） 白鳥台東西通線 知利別川左岸通線、知利別川右岸通線 ・地方特定道路整備事業（1億1,100万円） 中島町1丁目9条通線、室蘭中央通線　ほか ・日本中央競馬会環境整備事業（1,430万円） 本輪西町3丁目2号通線、本輪西中央通線 ・地方道路等整備事業（2億5,600万円） 中島本町3丁目1号通線、増市町1丁目2号通線　ほか ・改修事業（4,100万円） みゆき町5条通線　ほか ・私道整備補助（946万円） 13道路愛護組合 ・区画線、カーブミラー等整備（1,900万円）
⑦ 市営住宅整備	土木費		6 億　2,500 万円	・東町大和・汐見団地建替事業 全体計画（H23～H37） 23棟1,074戸を13棟617戸に建替予定 駐車場整備：417台 〈H24〉 1棟目建設（寿町団地：50%）

事　業　名	款	H24事業費	説　明
⑧ 市営住宅浴場確保対策補助	土木費	1,040 万円	・市営住宅団地内における公衆浴場確保対策 補助対象団地：東町大和団地、水元町団地、白鳥台団地 運営費補助　：燃料費及び光熱水費に対して補助 設備更新補助：北海道公衆浴場設備整備費補助金交付要綱に定める設備の更新経費に対して補助
⑨ 知利別川整備	土木費	3 億　640 万円	・橋梁等整備（～H27まで） 屯田橋架け替え
⑩ 公園整備	土木費	3,000 万円	・入江運動公園改修（1,900万円） アスファルト舗装 2,510㎡ ・白鳥台5丁目3号公園改修（750万円） 複合遊具更新 1基、ベンチ更新 2基、フェンス更新 100m ・八丁平1号公園（350万円） フェンス更新 100m
⑪ 公園長寿命化計画策定	土木費	1,517 万円	・長寿命化のための維持管理、修繕計画等の策定（H23～H24）
⑫ 港湾整備	港湾費	4 億　9,601 万円	・国直轄事業負担金　2億2,600万円 築地地区（西3号岸壁改良）、 崎守地区（臨港道路改良） ・社会資本整備総合交付金事業　2億7,001万円 入江地区（臨港道路整備）、 築地地区（臨港道路整備）、 崎守地区（中央岸壁電気防食）、 長寿命化計画策定、保安対策施設整備　ほか
⑬ 水道施設整備	水道会計	5 億　1,806 万円	・施設整備 チマイベツ系送水管改良 御崎高区流入電動弁ほか改良 千歳分岐点流量計新設 神代ポンプ場テレメータ新設 知利別2,3号配水池バイパス管改良 その他配水管改良　ほか
⑭ 下水道施設整備	下水道会計	9 億　8,837 万円	・施設整備 蘭東下水処理場 （管理棟監視制御設備改築、水処理棟改築、 管理棟耐震補強改築、管理棟監視制御設備改築、 汚泥処理設備改築） 中島下水ポンプ場再構築基本設計 中島地区合流改善管渠新設 知利別川河川改修に伴う管渠移設 汚水桝設置・汚水管整備　ほか ・普及促進事業 水洗便所改造資金等貸付金　17件 ・長寿命化のための維持管理、修繕計画等の策定（H22～H24）
環境の取り組み			
① 公害測定機器整備	衛生費　〈拡充〉	961 万円	・窒素酸化物自動測定記録計更新 ・微小粒子状物質（PM2.5）自動測定記録計設置
② 街路灯設置費助成 （※定住自立圏）	総務費	1,200 万円	・街路灯設置団体の維持費の軽減や市内街路灯の省エネ化の推進及び町内会等の環境意識の向上を図るため、省エネ型街路灯設置費に対し助成 ・補助割合：補助率2/3以内、限度額4万円
③ リサイクルの推進	衛生費	1 億　1,338 万円	・廃プラ分別収集等 ・空き缶、びん、ペットボトル分別収集 ・資源集団回収団体奨励金(175団体) ・古紙回収事業者奨励金
④ 環境普及啓発 （※定住自立圏）	衛生費	37 万円	・子どもの環境学習 北海道運輸局との共催により『交通エコロジー教室』を開催 対象：小学5年生程度 ・環境啓発用計測器（ワットアワーメーター）の活用による意識啓発 ・環境家計簿の普及
⑤ 不法投棄防止事業 （※定住自立圏）	衛生費	11 万円	・6市町連携による不法投棄共同防止啓発

事　業　名	款		H24事業費	説　明
⑥ 緑化推進	土木費		644 万円	・「花と緑のサークル都市」事業 （地域花壇整備、花苗等配布　ほか）
2 まちなか再生の推進				
公共施設跡地の活用				
① 旧し尿処理場解体	衛生費	〈新規〉	9,080 万円	・建屋本体・設備の解体、解体跡埋め戻し、整地　　ほか
心が通う魅力ある商店街づくり				
① 商店街空き店舗出店促進支援事業	商工費	〈新規〉	1,500 万円	・商店街空き店舗の解消と共に、商店街の魅力を創出するため、商店街振興組合等と連携した、商店街空き店舗出店支援制度の創設。出店者に費用の一部を助成し「商いの場」としての商店街活性化を図る 対象要件：市ホームページ掲載の空き店舗を活用し営業　　ほか 対象業種：小売業､飲食サービス業､生活関連サービス業（理美容） 補助額　：工事費の1/2以内、上限150万円
② 商店街コミュニティ拠点施設支援事業	商工費		95 万円	・中島商店会コンソーシアム（ふれあいサロンほっとな～る）（H22.9月開設）への施設運営費補助
3 地域活動・市民活動が盛んなまちづくり				
世代を超えたコミュニティづくり				
① まちづくり活動支援補助金	総務費	〈拡充〉	300 万円	・広く市民に還元される活動を対象とした公募型補助金 （1事業2ヵ年まで、選定委員会で選考） ・地域の「ｅｎ(えん)づくり」を目的とする事業について、補助割合を拡充 ・補助割合 1年目：補助対象経費の10/10以内 （上限20万円、下限5万円） ※ｅｎ(えん)づくり事業は上限30万円 2年目：補助対象経費の1/2以内 （上限10万円、下限5万円） ※ｅｎ(えん)づくり事業は10/10以内
② 市民活動センター管理運営	総務費		319 万円	・市民活動の拠点施設（港湾部庁舎1階） 土曜日を除く平日：10時から21時まで 土曜日：10時から17時まで（日・祝・年末年始休み） ※行政パートナーとの協働運営
③ 行政パートナーの推進	総務費 教育費		240 万円	・まち「ピカ」パートナー（公共施設等の美化） 活動に必要な用品等の提供（草刈機・燃料ほか） ・まごころパートナー （無償：行政サービス向上のためのボランティア） 図書館輪西分室（開館時間延長対応） 図書館(読み聞かせ等) ・まかせてパートナー（有償：受付業務などの委託） 市民活動センター 女性センター
縁結び市長				
① 縁結び「ｅｎ活」応援事業	商工費	〈新規〉	30 万円	・若者の縁結びを目的とした新たな出会いの場を提供
② まちづくり活動支援補助金	総務費	〈拡充〉	300 万円	【再掲】

事　業　名	款		H24事業費	説　明
文化・スポーツに触れ合い、参加しやすい環境づくり				
① 白鳥大橋パークゴルフ場整備	教育費	〈新規〉	703 万円	・現在の18ホールを36ホールに拡張整備（測量調査、実施設計）
4 魅　力　あ　る　港　づ　く　り				
シップリサイクル事業の支援				
① シップリサイクル事業支援	総務費		21 万円	・事業化に向けた関係機関との調整
鉄道貨物輸送研究会の立ち上げ				
① 室蘭港貨物等輸送研究経費	港湾費	〈新規〉	25 万円	・北海道発着貨物の調査研究 ・青森港等との連携及び情報収集
夜景観光の推進				
① 第3回全国工場夜景サミット開催 （※定住自立圏） （※記念事業）	総務費	〈新規〉	50 万円	・実施主体：室蘭観光推進連絡会議（市、商工会議所、観光協会） ・事業概要 工場夜景観光の事例発表、講演会、工場夜景観賞ツアー　ほか
② 室蘭観光ツアーガイド養成講座開催 （※定住自立圏）	商工費	〈新規〉	25 万円	・実施主体：室蘭観光推進連絡会議（市、商工会議所、観光協会） ・事業概要 室蘭観光ツアーガイドに必要な知識と魅力的なガイド方法を取得するため、企業関係者等が講師となり、観光ガイドを養成
魅力ある道の駅づくり				
① 白鳥大橋記念館施設整備 （※定住自立圏）	商工費		659 万円	・道の駅「みたら室蘭」としての魅力アップを図るため、市民意見等を踏まえた整備 駐車場改修整備、案内サイン整備　ほか
② 絵鞆臨海公園駐車場整備	港湾費	〈新規〉	1,670 万円	・絵鞆臨海公園来園者の利便性の向上を図るとともに、道の駅「みたら室蘭」や「むろらん屋台村」等との一体的施設利用を促すため、公園利用者駐車場を整備
港湾振興				
① 室蘭港貨物等輸送研究経費	港湾費	〈新規〉	25 万円	【再掲】
② ポートセールス経費	港湾費	〈拡充〉	240 万円	・フェリー航路の新規誘致 企業訪問（東京、大阪、名古屋など） ・コンテナ航路など室蘭港活用の促進 企業訪問（東京、札幌、函館など） ・太平洋側4港湾連携クルーズ誘致〈新規〉 4港湾（室蘭、函館、苫小牧、釧路）が連携し、海外クルーズキーパーソンを招請 地域観光スポットの紹介と視察、意見交換会等を実施
③ 客船等寄港経費	港湾費	〈拡充〉	271 万円	・客船等歓迎 高校・ボランティア団体等との連携 ＜入港予定：7隻＞ ダイヤモンド・プリンセス（5/8、9/30） 飛鳥Ⅱ（7/27、10/5） ふじ丸（9/13） レジェンドオブザシーズ（9/19・初入港） ぱしふぃっくびいなす（9/25）

事　業　名	款		H24事業費	説　明
5 産学官民の連携強化				
室蘭テクノセンター等を中心に、環境産業拠点都市の形成				
① 新分野展開支援事業費補助金	商工費		120 万円	・実施主体：テクノセンター ・事業概要 産学官連携による自動車産業や環境関連産業など新分野への展開を目的とした研究開発や事業の支援及び地元企業の研究開発・技術等のＰＲ ・産学官連携事業（フロンティア技術検討会開催） ・ビジネスＥＸＰＯへの出展　外
② 成長分野技術ニーズ・地域シーズ調査	商工費	〈新規〉	285 万円	・成長分野のニーズと地域ものづくり企業のシーズの調査を実施 ニーズ調査：国内大手企業、ベンチャー企業等の次代の取り組みなど、成長分野における技術・製品等の課題について調査 シーズ調査：地域企業の技術等の調査
③ ものづくり創出支援事業	商工費	〈拡充〉	1,120 万円	・実施主体：テクノセンター ・地域企業のチャレンジを促すため、事業メニューを改正 〈改正内容〉 開発の芽育成支援事業 製品、技術の大幅な改善に繋がる調査研究を追加対象 補助対象経費に労務費を追加（上限1/4） 限度額80万円（限度額を20万円増額） 製品・新技術事業化支援事業 製本、技術の大幅な改良改善を追加対象 補助対象経費に労務費を追加（上限1/4） 商品化推進事業 食品開発メニューを追加、補助限度額30万円 市場開拓支援事業 既存製品、技術を対象に追加 海外出展は20万円加算 外国語パンフ・ＨＰ作成には10万円加算 海外商談会には5万円加算 ものづくり技術・技能習得研修支援事業 限度額40万円（限度額を10万円増額） ものづくり資格取得事業 技能士以外の資格も対象に追加 検査測検定支援事業〈新規〉 1/2補助、限度額1社5万円
既存産業と環境産業の融合・発展を目指した新しい産業起こしや企業誘致の推進				
① 成長分野技術ニーズ・地域シーズ調査	商工費	〈新規〉	285 万円	【再掲】
② ものづくり創出支援事業	商工費	〈拡充〉	1,120 万円	【再掲】
③ 企業誘致推進経費	商工費		200 万円	企業立地促進法に基づく産業集積の基本計画への取り組み ・道央中核地域（室蘭市含む） 機械金属、情報、自動車関連産業ほか ・室蘭市、登別市、伊達市、白老町地域 環境、エネルギー、食品加工関連産業
④ 中小企業振興資金融資貸付金	商工費		12 億円	・中小、零細企業の資金需要に対応
⑤ 環境産業拠点形成事業	衛生費 商工費		87 万円	・北海道ＰＣＢ廃棄物処理事業監視円卓会議の開催 ・監視円卓会議だよりの発行 ・ＰＣＢ廃棄物処理等市民説明会の開催 ・ＰＣＢ廃棄物処理事業に係る関係機関等との協議　ほか
大学発の技術を地域で応援				
① 大学連携推進経費	総務費		22 万円	【再掲】 ・シップリサイクル事業支援　　ほか

事　業　名	款		H24事業費	説　明
産業競争力の強化に向けた支援				
① 成長分野技術ニーズ・地域シーズ調査	商工費	〈新規〉	285 万円	【再掲】
② ものづくり創出支援事業	商工費	〈拡充〉	1,120 万円	【再掲】
③ 地域雇用創造推進事業（新パッケージ事業（国委託））	労働費		－	・実施主体：室蘭市雇用創造推進協議会 ・事業費：2,805万円 ・事業概要 雇用拡大メニュー　（ＢtoＢネット活用実践セミナー） 人材育成メニュー　（環境・ものづくり技能習得講習　ほか） 就職促進メニュー　（ジョブフェア室蘭　ほか）
④ ジョブフェア室蘭開催支援経費	労働費		290 万円	・室蘭市雇用創造推進協議会で開催しているジョブフェア室蘭への広告、ＰＲの充実 ・中途退職者及び転職者や新卒者を対象に、地元事業所が必要とする人材の確保と移住・定住の促進を図る ※ジョブフェア室蘭開催日程 開催地：室蘭市 開催時期：H24年9月（1日間） 参加予定企業数：30社
雇用の確保				
① 緊急雇用創出推進事業	総務費 土木費		5,113 万円	・短期雇用、就業機会の創出 委託事業：4事業、新規雇用24名 GIS導入データ作成、緊急輸送道路沿道建築物調査　ほか ※北海道緊急雇用創出事業臨時特例基金活用事業
② 就職支援事業	労働費		1,436 万円	・求職者へのカウンセリング・就職相談実施 ・企業訪問による求人情報の収集　ほか ※北海道緊急雇用創出事業臨時特例基金活用事業から市単独事業として実施
③ 高校生の就職フォローアップ事業	労働費		34 万円	・実施主体：高校生就職促進会（室蘭・登別・伊達） ・事業概要 就職支援応援講座（3市3会場で年2回広域的に実施） 対象：西胆振管内の就職を希望する高校2,3年生 2年生（就職準備セミナー開催） 3年生（就職直前セミナー開催）
④ 地域雇用創造推進事業（新パッケージ事業（国委託））	労働費		－	【再掲】
⑤ ジョブフェア室蘭開催支援経費	労働費		290 万円	【再掲】
⑥ 縁結び「ｅｎ活」応援事業	商工費	〈新規〉	30 万円	【再掲】
⑦ 障害者就労支援	民生費		337 万円	【再掲】 ・外部委託による障害者就労支援員の配置 障害者の就労相談や就労後フォローアップ 求人企業の発掘 ハローワークとの連携　ほか
⑧ 母子家庭等自立支援給付金支給事業	民生費		2,086 万円	・自立支援教育訓練給付金（2件 4万円） 受講費用の2割相当額（上限あり）を給付 ・高等職業訓練促進給付金（13件 2,082万円） （新規3件、継続10件） 看護師、准看護師、保育士などの資格取得修業期間中に生活費用の一部を給付

事　業　名	款		H24事業費	説　明
⑨ 母子家庭等就業・自立支援センター運営	民生費		200 万円	・北海道との共同事業により、母子家庭に対する就業相談・支援等を実施 相談員、企業促進員配置
⑩ 生活保護受給者就労支援	民生費		384 万円	・受給者の就労意欲を支援し、生活保護からの自立に向け、 就労支援員を2名配置
⑪ 高年齢者就業機会確保事業費補助金	労働費		1,320 万円	・シルバー人材センターへの運営及び事業費補助
⑫ 勤労者融資資金貸付金	労働費		159 万円	・市内在住の勤労者を対象とした生活・教育資金に関わる協調融資
6 行財政改革と市民に望まれる公共サービスを目指して				
不良債務等解消のスピードアップ				
① 病院会計健全化	病院会計		―	・不良債務 H22末　2億9,523万円 H23末見込　1億4,330万円 H24末見込　解消 ・健全化対策 病棟・外来再編による診療体制の効率化 ※高度治療室（ＨＣＵ）稼働に伴う医療提供体制の整備
② 港湾会計健全化	港湾会計		―	・累積資金収支不足 H22末　40億3,512万円 H23末見込　39億915万円 H24末見込　38億7,837万円 ※水道会計からの長期借入金（3億5,000万円）の 償還終了年度はH30年度
③ 下水道会計健全化	下水道会計		―	・不良債務 H22末　30億2,438万円 H23末見込　26億3,480万円 H24末見込　24億5,529万円 ※不良債務解消はH33年度を予定
④ 公社用地買戻し	総務費		4 億　5,000 万円	・振興公社 H24：2億5,000万円 H26で買戻し完了予定 ・土地開発公社 H24：2億円 H40で買戻し完了予定
（H24.3月補正予定）	総務費		（1 億　5,000 万円）	・振興公社用地買戻しの増額 H23：2億5,000万円→4億円 買戻し期間の短縮（当初完了予定：H29→H26）
民間力の積極的活用				
① 市営住宅共同浴場整備	土木費	〈新規〉	9,000 万円	【再掲】
② 学校給食調理等業務	教育費	〈新規〉	8,045 万円	・食材の受入れ、調理、配缶、洗浄･消毒、衛生管理業務　ほか ・委託期間：H24.4月～H27.3月 （H23 プロポーザル方式にて業者選定）
③ 公設地方卸売市場指定管理者制度導入	市場会計	〈拡充〉	5,733 万円	・H24.4月より指定管理者制度を導入 ・指定管理者：市場サービス㈱ ・指定管理者導入にあわせて、市場使用料改定 売上高使用料：3/1000 → 2.5/1000　（△0.5/1000） その他使用料：平均△6.5%
④ 保育所民営化	民生費	〈拡充〉	―	【再掲】
職員の意識改革				
① 職員研修	総務費		559 万円	・職員の政策立案能力や課題解決能力の向上 政策プロセス・マネジメント研修、国内派遣研修　ほか

事　業　名	款		H24事業費	説　明
財政の見通しを示しながら施設の更新				
①　都市基盤の充実	各款		－	【再掲】
事務の効率化				
①　統合地理空間情報システム(ＧＩＳ)導入 （※一部緊急雇用）	総務費	〈新規〉	3,990 万円	・職員数が減少している中で、現在の住民サービスの維持・向上を図るため、システム構築及びデータ整備を実施 ・導入効果 安心安全なまちづくりに活用（津波浸水ﾏｯﾌﾟ、要救護者支援　ほか） 市民対応の効率化（建築確認申請、固定資産税評価　ほか） ※備荒資金組合資金の活用（5年賦で購入） ※データ整備の一部は、北海道緊急雇用創出事業臨時特例基金活用事業で実施
将来負担の軽減				
①　基金への積立 （H24.3月補正予定）	総務費 教育費 国保会計		（　精　査　中　）	・将来的な公共施設の耐震改修等事業や学校建設事業に備え、財政基盤の強化を図る 公共施設（耐震化）整備基金　：（精査中） 公共施設（学校建設）整備基金：1億円 ・医療保険制度の改正などによる、急激な保険料負担増に対する激変緩和や、収支不足等に備える 国民健康保険事業運営基金の創設：1億6,000万円
②　基金借入金繰上償還 （H24.3月補正予定）	諸支出金		(2 億　3,760 万円)	・H19土地開発基金借入金の繰上償還
③　公社用地の買戻し増額 （H24.3月補正予定）	総務費		(1 億　5,000 万円)	【再掲】
7　西胆振地域への取り組み				
近隣市町との連携を強化				
①　定住自立圏連携事業	各款		1 億　1,058 万円	※参考資料１参照
②　消防体制の広域化	消防費		12 万円	・西胆振の第二次保健医療福祉圏域である室蘭市、登別市及び西胆振消防組合の三消防本部で広域化を検討 （事務局：西いぶり広域連合）
③　共同電算処理	広域連合負担金		2 億　9,282 万円	共同電算処理等負担金 ・システム保守･施設管理等：1億4,367万円 ・起債償還費：1億3,465万円 ・人件費等：1,450万円
④　共同廃棄物処理	広域連合負担金		9 億　2,860 万円	廃棄物処理経費等負担金 ・施設運営費：3億7,750万円 ごみ処理施設（3億1,657万円） 最終処分場（2.186万円） リサイクルプラザ（1,042万円） げんき館ペトトル（2,865万円） ・起債償還費：5億1,988万円 ・人件費等：3,122万円
★　開港140年・市制施行90年事業への取り組み				
開港140年・市制施行90年事業への取り組み				
①　記念事業	総務費	〈新規〉	6,202 万円	※参考資料２参照

（参考資料1） 西いぶり定住自立圏形成協定に基づく事業一覧

（単位：万円）

連携分野	連携項目	事業名	H24 事業費	連携市町
1 医療	1.医師・医療機関間連携システム構築事業	IDリンク接続経費	101	
		IDリンク普及啓発経費	13	
	2.ICT利用の遠隔妊婦健診事業	※健診実施市町が負担	－	豊浦・壮瞥・洞爺湖町
2 防災	3.西胆振防災体制構築事業	防災無線整備運用	51	
		広域避難所看板等設置	264	
		ハザードマップ改訂（拡充）	862	
	4.災害派遣医療チーム（DMAT）編成事業	※2チーム結成済	－	
3 観光	5.広域観光サービス提供推進事業	観光推進連絡会議負担金	100	
	6.広域観光基盤整備事業	白鳥大橋記念館運営管理委託料	2,565	
		白鳥大橋記念館施設整備	659	
	7.広域観光情報発信事業	北海道登別洞爺広域観光圏協議会負担金	105	5市町
4 環境	8.環境意識啓発事業	街路灯設置費助成	1,200	
		環境普及啓発	37	
	9.不法投棄防止啓発事業	不法投棄防止事業	11	
	10.再生可能エネルギー導入促進事業	学校太陽光発電設置（新規）～室蘭西中学校	3,088	
5 教育	11.青少年科学館広域出前講座事業	出前講座教材費	19	5市町
	12.広域総合学習推進事業	小中学校・移動バス経費（新規）～他市町での広域学習授業の実施	129	
	13.広域社会教育推進事業	社会教育情報発信	19	5市町
		合同文化事業（拡充）～3市事業を6市町により実施	100	5市町
		国内派遣研修	27	登別・伊達市
		合同スポーツ交流事業（拡充）～3市事業を6市町により実施	23	5市町
	14.社会教育人材活用推進事業	※既存人材バンクの活用推進		
6 ICT	15.西胆振生活情報メール配信事業	メール配信システム運用経費	46	5市町
	16.図書館ネットワークサービス広域化事業	図書館ネットワークシステム運用経費	86	登別・伊達市
	17.学校図書システム広域化事業	学校図書システム運用経費	98	登別市
	18.情報教育システム広域化事業	情報教育システム運用経費	1,207	登別市・壮瞥町
7 地産地消	19.西胆振食の安全啓発事業	西いぶり食の魅力向上研究会助成（新規）	180	5市町
8 人材育成	20.合同職員研修事業	合同職員研修	59	5市町
	21.室蘭工業大学との連携研修事業	室工大との連携による職員研修	9	

事業費合計　1億1,058 万円

※事業費は本市負担分

※「連携市町」欄に記載がある事業は他市町との共同実施事業

（参考資料2） 開港140年・市制施行90年記念事業 ＜市予算計上事業＞

	事業名	開催時期	事業概要	事業予算
◇心をつなぐ				
1	室蘭市民憲章制定40周年記念事業 絵画・写真コンクール	8月1日	市民憲章を身近に感じ、今後のPRに活用するため、絵画・写真を募集。移動展示会、ポスター作成等で普及、啓発を図る。	46 万円
2	公開放送「NHKのど自慢」開催	7月15日	記念の節目に人気長寿番組を招致し、市民参加型の公開番組を通じて室蘭を全国にPRするとともに文化芸術活動の振興を図る。	51 万円
3	（仮称）ロシアバレエ室蘭公演	11月18日	ロシアバレエダンサーを招聘し、バレエ研究所研修生との市民参加型で行う公演で文化連盟主催。優れたダンサーの公演鑑賞による文化振興を図る。	100 万円
4	室蘭市民美術館特別展「輪島進一展」	10月2日 ～ 21日	本市ゆかりの画家・輪島進一氏の作品展を市立小樽美術館と共催。	25 万円
5	市民大運動会　第24回むろらんピック **スポーツ都市宣言30年記念**	9月23日	現在実施している競技を基本に、開港140年・市制施行90年を記念し、新種目等を盛り込んだスポーツイベントとする。	160 万円
6	三市合同文化事業	6月3日	室蘭、登別、伊達3市連携による芸術文化公演等を持ち回りで開催するが、記念の年であることから23年度に引き続き本市で開催。	100 万円
7	ふるさと再発見 ①市内文化財めぐり	10月13日 ～ 14日	新規に国指定名勝となる予定の室蘭外海岸を中心に、文化財をめぐるバスツアーを行い、郷土への愛着や関心を深める。	15 万円
	ふるさと再発見 ②ﾈｲﾁｬｰｳｫｯﾁﾝｸﾞ体験乗船会	未定	本市が誇る自然を子どもたちに体験してもらうことで郷土愛を育むとともに、親子の触れ合いを創出する。	180 万円
	ふるさと再発見 ③市施設・夜景見学会	未定	私たちの住むまちの歴史といまを知り、理解を深めるため、各種公共施設や夜景を見学。	22 万円
			小　　計	699 万円
◇まちをつなぐ				
1	中国日照市訪問団歓迎事業	7月下旬	友好都市締結10周年となる中国・日照市訪問団を迎え、記念行事や親善交流を図り、一層の友好を築く。	203 万円
2	ノックスビル市訪問団歓迎事業	7月下旬	姉妹都市提携20周年となったノックスビル市訪問団を迎え、記念行事や親善交流を図り、一層の友好を築く。	203 万円
3	中国日照市児童生徒作品展	7月25日 ～ 30日	日照市の児童生徒による絵画・書道作品を展示することで市民理解を深めるとともに、友好促進を図る。	15 万円

（参考資料2） 開港140年・市制施行90年記念事業 ＜市予算計上事業＞

	事業名	開催時期	事業概要	事業予算
4	開港140年・室蘭本線開業120年記念事業	5月中旬	開業120年を迎える室蘭本線が港とマチの発展に果たしてきた役割を広く市民に知っていただくとともに、鉄道関連のイベントを通じて室蘭市を魅力をPRする。	398 万円
5	第3回全国工場夜景サミット開催	10月	注目を集めている室蘭夜景について、講演会や交流会、工場夜景観賞ツアー等を開催し、市民をはじめ、道内外にPRを行う。	50 万円
6	帆船（海王丸）の入港	7月下旬	航海訓練所の帆船を誘致し、セイルドリルや一般公開を行い、市民に港や海への親しみを深めてもらう。	218 万円
7	巡視船航海体験事業	未定	海上保安部のヘリコプター搭載型巡視船を誘致し、海上保安業務の啓発と海事思想の普及を図りながら、港まち室蘭を再認識してもらう。	116 万円
8	海上保安庁音楽隊コンサート	12月上旬	海上保安協会室蘭支部設立60周年等を記念し、普段は招聘出来ない音楽隊演奏を通じ、海上保安思想の普及啓発を図るとともに、港まち室蘭を再認識してもらう。	18 万円
9	白鳥大橋ハーフマラソン	10月上旬	白鳥大橋をコースに、全国から参加者を募り、ハーフマラソン大会を開催。	800 万円
10	白鳥大橋ウォーク	10月上旬	本市のシンボル白鳥大橋を活用し、子どもから年配者までが気軽に参加できるウォークによって大橋の価値を再認識してもらうとともに地域活性化を図る。	324 万円
11	旧室蘭駅舎誕生100年祭	未定	竣工100年を迎える旧室蘭駅舎を活用したイベントを開催し、明治の面影を残す貴重な財産を認識してもらうとともに、市内外の集客により、活性化を図る。	10 万円
12	第66回むろらん港まつり	7月27日 ～ 29日	本市一大イベントである港まつりを通して、市民総参加による地域の連帯感の創出、及び市外からの誘客、交流の増大を目指す。	956 万円
13	スワンフェスタ2012	9月1日 ～ 2日	白鳥大橋開通を記念して始まった市民イベント「スワンフェスタ」を通して、サークル都市室蘭のまちづくりの連帯感と共同意識の高揚を目指す。	713 万円
14	姉妹都市等との観光と物産展	10月	上越市、静岡市等の姉妹都市と本市の物販事業者の交流により、商業活性化とともに、近隣からの買い物客を呼び込むことにより、姉妹都市の紹介、宣伝を行う。	67 万円
			小　　計	4,091 万円
◇明日につなぐ				
1	室蘭市民憲章制定40周年記念 未来への手紙―タイムカプセル事業	4月1日 ～ 8月1日	市内の10歳児全員から「10年後の自分」と「理想の室蘭」を文章、イラスト等で応募してもらうとともに、市内中学生全員からの未来の自分と室蘭へのメッセージを同梱し8月1日に埋設。10年後に開封。	68 万円

（参考資料2） 開港140年・市制施行90年記念事業 ＜市予算計上事業＞

	事業名	開催時期	事業概要	事業予算
2	（仮称）室蘭ものづくり軌跡フェア	10月	室蘭のものづくり企業の過去から現在、そして未来について知っていただく機会を提供するとともに、各企業の持つ技術を地域に対しPRする。	50 万円
3	わらべうたから絵本の世界へ **自動車文庫ひまわり号誕生50年記念**	7月10日 ～ 11日	絵本の楽しいお話やわらべうたの実技なども含めて、楽しく学ぶ講座を開催し、子どもたちに幼い頃から絵本に親しめる環境を整え、豊かな言葉と健やかな心を育てる。	22 万円
4	むろらんキッズタウン	10月28日	子どもの職業体験をとおして、地域企業や就労の大切さを知って貰い、社会の仕組みを学んでもらう。	49 万円
			小　　計	189 万円
◇記念式典他				
1	室蘭市開港140年・市制施行90年記念式典	7月27日	先人の偉業を讃えるとともに、10年後に開港150年・市制施行100年を迎える室蘭の明日への出発を誓う。	330 万円
2	140年・90年記念誌発行	7月下旬	記念誌を広報に折り込みで全戸配布。室蘭のまちと港の歴史を振り返り、開港140年・市制施行90年記念事業と併せて制定40周年を迎えた市民憲章のPRを行う。	134 万円
3	一般経費	―	―	759 万円
			小　　計	1,223 万円
事 業 費 総 計				**6,202 万円**

資料（1）一般会計予算

※構成比は、らんらん債満期一括償還に伴う借換債を除いた比率

① 歳　　入

（単位：百万円）

款		平成24年度 予算額（当初）(A)	平成24年度 構成比（%）	平成23年度 予算額（6月補正後）(B)	平成23年度 構成比（%）	比較 増△減 (A)−(B)=(C)	比較 伸率（%） (C)/(B)
1 市税		14,233	33.9	14,140	33.9	93	0.7
2 地方譲与税		480	1.1	452	1.1	28	6.2
3 利子割交付金		29	0.1	30	0.1	△ 1	△ 3.3
4 配当割交付金		6		6			
5 株式等譲渡所得割交付金		3		1		2	200.0
6 地方消費税交付金		1,078	2.6	1,110	2.7	△ 32	△ 2.9
7 ゴルフ場利用税交付金		11		12		△ 1	△ 8.3
8 自動車取得税交付金		53	0.1	53	0.1		
9 地方特例交付金		32	0.1	103	0.2	△ 71	△ 68.9
10 地方交付税		7,375	17.6	7,247	17.4	128	1.8
11 交通安全対策特別交付金		19		20		△ 1	△ 5.0
12 分担金及び負担金		228	0.5	237	0.6	△ 9	△ 3.8
13 使用料及び手数料		1,311	3.1	1,301	3.1	10	0.8
14 国庫支出金		8,311	19.8	8,224	19.7	87	1.1
15 道支出金		2,332	5.6	2,382	5.7	△ 50	△ 2.1
16 財産収入		97	0.2	76	0.2	21	27.6
17 寄附金							
18 繰入金		217	0.5	291	0.7	△ 74	△ 25.4
19 繰越金		10		89	0.2	△ 79	△ 88.8
20 諸収入		2,636	6.3	2,718	6.5	△ 82	△ 3.0
21 市債	らんらん債満期一括償還に伴う借換債を除く	3,511	8.4	3,191	7.7	320	10.0
	らんらん債満期一括償還に伴う借換債	350	−	555	−	△ 205	△ 36.9
合計	らんらん債満期一括償還に伴う借換債を除く	41,972	100.0	41,682	100.0	290	0.7
	らんらん債満期一括償還に伴う借換債を含む	42,322	−	42,237	−	85	0.2

※構成比については、四捨五入の関係で合計と一致しない場合がある

※構成比は、らんらん債満期一括償還分を除いた比率、<　>は所要一般財源を示す

② 歳　　出

（単位：百万円）

款		平成24年度 予算額（当初）(A)	平成24年度 構成比(%)	平成23年度 予算額（6月補正後）(B)	平成23年度 構成比(%)	比較 （増△減）(A)-(B)=(C)	比較 伸率 (C)/(B)%
1 議会費		237 < 237 >	0.6 < 0.9 >	285 < 285 >	0.7 < 1.1 >	△ 48 < △ 48 >	△ 16.8 < △ 16.8 >
2 総務費		1,225 < 1,111 >	2.9 < 4.4 >	1,326 < 1,130 >	3.2 < 4.5 >	△ 101 < △ 19 >	△ 7.6 < △ 1.7 >
3 民生費		12,167 < 3,349 >	29.0 < 13.2 >	12,111 < 3,177 >	29.1 < 12.6 >	56 < 172 >	0.5 < 5.4 >
4 衛生費		1,173 < 901 >	2.8 < 3.6 >	1,254 < 877 >	3.0 < 3.5 >	△ 81 < 24 >	△ 6.5 < 2.7 >
5 労働費		60 < 56 >	0.1 < 0.2 >	66 < 45 >	0.2 < 0.2 >	△ 6 < 11 >	△ 9.1 < 24.4 >
6 農林水産業費		403 < 56 >	1.0 < 0.2 >	217 < 26 >	0.5 < 0.1 >	186 < 30 >	85.7 < 115.4 >
7 商工費		1,562 < 257 >	3.7 < 1.0 >	1,548 < 222 >	3.7 < 0.9 >	14 < 35 >	0.9 < 15.8 >
8 土木費		2,805 < 773 >	6.7 < 3.0 >	2,594 < 771 >	6.2 < 3.0 >	211 < 2 >	8.1 < 0.3 >
9 港湾費		634 < 98 >	1.5 < 0.4 >	608 < 99 >	1.5 < 0.4 >	26 < △ 1 >	4.3 < △ 1.0 >
10 消防費		266 < 224 >	0.6 < 0.9 >	259 < 222 >	0.6 < 0.9 >	7 < 2 >	2.7 < 0.9 >
11 教育費		3,222 < 1,707 >	7.7 < 6.7 >	2,995 < 1,616 >	7.2 < 6.4 >	227 < 91 >	7.6 < 5.6 >
12 広域連合負担金		2,466 < 2,262 >	5.9 < 8.9 >	2,471 < 2,269 >	5.9 < 9.0 >	△ 5 < △ 7 >	△ 0.2 < △ 0.3 >
13 災害復旧費		30 < 20 >	0.1 < 0.1 >	30 < 20 >	0.1 < 0.1 >	< >	< >
14 公債費	らんらん債満期一括償還分除く	4,565 < 4,253 >	10.9 < 16.8 >	4,408 < 4,101 >	10.6 < 16.2 >	157 < 152 >	3.6 < 3.7 >
	らんらん債満期一括償還分	350 < >	—	555 < >	—	△ 205 < >	△ 36.9 < >
15 諸支出金		4,823 < 4,306 >	11.5 < 17.0 >	4,598 < 4,096 >	11.0 < 16.2 >	225 < 210 >	4.9 < 5.1 >
16 職員費		6,284 < 5,698 >	15.0 < 22.5 >	6,863 < 6,266 >	16.5 < 24.8 >	△ 579 < △ 568 >	△ 8.4 < △ 9.1 >
17 予備費		50 < 50 >	0.1 < 0.2 >	50 < 50 >	0.1 < 0.2 >	< >	< >
合計	らんらん債満期一括償還分除く	41,972 < 25,358 >	100.0 < 100.0 >	41,682 < 25,270 >	100.0 < 100.0 >	290 < 88 >	0.7 < 0.3 >
	らんらん債満期一括償還分を含む	42,322 < 25,358 >	—	42,237 < 25,270 >	—	85 < 88 >	0.2 < 0.3 >

※構成比については、四捨五入の関係で合計と一致しない場合がある

③ 歳入・歳出対前年度増減内訳（性質別）

（単位：百万円）

【歳　入】	H24 当初①	H23 6月補正後②	差 引 ①-②	① － ② の 主 な 増 減
一般財源	25,358	25,270	88	
市　税　等	14,265	14,243	22	個人市民税 159 、法人市民税 38、固定資産税 △96（土地△43、家屋△243、償却202）、たばこ税 56、都市計画税 △66
うち市税	14,232	14,140	92	地方特例交付金 △71 （子ども手当△58、減収補てん（自動車取得税減税分）△13）
地方交付税等	9,124	8,958	166	
普通交付税	6,745	6,620	125	
臨時財政対策債	1,749	1,711	38	
特別交付税	630	627	3	
地方譲与税等	1,679	1,683	△ 4	特別とん譲与税 23、地方揮発油譲与税 5、地方消費税交付金 △32
小計（狭義の一般財源）	25,068	24,884	184	
そ の 他	290	386	△ 96	減債基金繰入金 52、土地売払収入 17、繰越金 △79
特定財源	16,150	16,021	129	
国・道支出金	10,419	10,454	△ 35	室蘭西中学校建設 187、障害者自立支援給付費 144、生活保護費 138、Mランド漁港機能高度利用化 137、市営住宅整備 94、私立保育所運営費負担金 52、障害児通所支援給付費 33、後期高齢基盤安定 17、子ども手当 △379、緊急雇用創出推進 △165、介護基盤緊急整備 △67、子宮頸がんワクチン等接種 △54、桜蘭中学校増築 △56、知事・道議選挙委託金 △29、港湾施設整備（社会資本） △28、障害者自立支援対策推進 △25、新型インフルエンザワクチン △16
市　債 （臨財債は除く）	1,762	1,481	281	室蘭西中学校建設 168、市営住宅整備 148、港湾施設整備（国直轄） 74、市営住宅共同浴場整備 68、南高平川整備 51、Mランド漁港機能高度利用化 12、桜蘭中学校増築 △191、入江温水プール改修 △60、港湾施設整備（社会資本） △19
そ の 他	3,969	4,086	△ 117	公共施設（学校建設）基金繰入金 60、墓園・墓地手数料 31、財政調整基金繰入金 △184
合　計	41,508	41,291	217	

【歳　出】	H24 当初①	H23 6月補正後②	差 引 ①-②	① － ② の 主 な 増 減
義務的経費	25,309	25,699	△ 390	
人 件 費	6,502	7,160	△ 658	
うち一般職 （共済費・退職手当除く）	3,427	3,657	△ 230	職員数の減等 一般職（専従・派遣除く） 589人→566人（△23人）予定 （うち再任用10人→19人※短時間除く）
うち退職手当	1,081	1,294	△ 213	定年 52人→43人、定年外5人→5人、特別職2人→1人
扶 助 費	11,780	11,665	115	生活保護費 202、障害者自立支援給付費 165、私立保育所運営費負担金 93、障害児通所支援給付費 44、子ども手当 △350、新型インフルエンザワクチン △22、医療助成費 △14
公 債 費	4,561	4,404	157	地方債元金 234、利子 △77
広域連合負担金	2,466	2,470	△ 4	後期高齢者医療広域連合 44、西いぶり広域連合 △48（電算△17、廃棄物△34）
その他の経費	16,199	15,592	607	
投資的経費	4,321	3,696	625	室蘭西中学校建設 375、Mランド漁港機能高度利用化 175、市営住宅共同浴場整備 90、旧し尿処理場施設解体 88、市営住宅整備 84、港湾施設整備（国直轄） 82、絵輌・桜が丘・武揚統合小学校建設 70、南高平川整備 51、高平・本輪西統合小学校整備 47、桜蘭中学校増築 △274、入江温水プール改修 △80、介護基盤緊急整備 △67、港湾施設整備（社会資本） △49
繰 出 金	4,740	4,492	248	病院 88、介護 65、下水 60、後期高齢 26、市場 14
そ の 他	7,138	7,404	△ 266	学校給食調理等業務委託 80、開港140年・市制施行90年記念事業 62、室蘭西中学校初度備品 40、墓地・墓園管理基金積立金 32、緊急雇用創出推進 △144、子宮頸がんワクチン等接種 △122、公共施設耐震診断 △51、災害廃棄物処理（ホタテ養殖施設） △38、市長・市議選挙経費 △37、減債基金積立金 △35、土地開発基金償還金 △23、桜蘭中学校初度備品 △15、知事・道議選挙経費 △15
合　計	41,508	41,291	217	

【歳入・歳出同額】	H24 当初①	H23 6月補正後②	差 引 ①-②	① － ② の 主 な 増 減
道受託等事業	464	391	73	道道用地 157、チマイベツ川 △84
「らんらん債」満期一括償還	350	555	△ 205	
再 計（予算規模）	42,322	42,237	85	

資料（2）市税の内訳

（単位：百万円）

区分		Ｈ２４ 当初（A）	Ｈ２３ 6月補正後（B）	比較 増△減 (A)-(B)=(C)	比較 伸率(%) (C)/(B)	主な増減内訳
現年課税	個人市民税	4,041	3,883	158	4.1	
	均等割	119	120	△ 1	△ 0.8	
	所得割	3,868	3,721	147	4.0	納税義務者の減、年少扶養控除の廃止による増
	分離課税	47	32	15	46.9	納税義務者の増、一人当たりの平均税額の増
	過年度分	7	10	△ 3	△ 30.0	
	法人市民税	1,438	1,400	38	2.7	
	均等割	285	285	0	0.0	
	法人税割	1,139	1,099	40	3.6	大手製造業における収益増
	過年度分	14	16	△ 2	△ 12.5	
	固定資産税	6,860	6,943	△ 83	△ 1.2	
	土地	1,435	1,477	△ 42	△ 2.8	地価下落による減（下落率平均 △2.7%）
	家屋	2,511	2,754	△ 243	△ 8.8	評価替による減 △315 新増築による増 37 ほか
	償却資産	2,914	2,712	202	7.4	設備投資による増
	国有資産等所在市交付金	34	47	△ 13	△ 27.7	評価替による減
	軽自動車税	113	111	2	1.8	台数の増（全体で261台）
	市たばこ税	759	703	56	8.0	消費本数の減 △39 税率改定による増 95
	都市計画税	887	953	△ 66	△ 6.9	地価下落等による減 △10 評価替による減 △68 新増築による増 10 ほか
	小計	14,132	14,040	92	0.7	
滞納繰越分		100	100	0	0.0	
合計		14,232	14,140	92	0.7	

資料(3) 人件費

① 人件費の内訳(一般会計)　　(単位:百万円)

区分	H24 当初 (A)	H23 6月補正後 (B)	比較 増△減 (A)−(B)=(C)	比較 伸率(%) (C)/(B)	(A)−(B)の主な内訳
報酬	895	975	△ 80	△ 8.2	統一地方選挙(H23実施)による減 保育所民営化による減 学校給食調理等業務民間委託による減
給与等	4,604	5,042	△ 438	△ 8.7	
うち一般職(退職手当を除く)	3,440	3,664	△ 224	△ 6.1	予算人員:589人→566人(△23人) (うち再任用:10人→19人)
うち退職手当	1,081	1,294	△ 213	△ 16.5	定年52人→43人、定年外5人→5人
賃金	54	80	△ 26	△ 32.5	緊急雇用創出事業の縮小による減
共済費等	961	1,069	△ 108	△ 10.1	共済費率変更による減
合計	6,514	7,166	△ 652	△ 9.1	

② 職員数の状況(各年度4月1日人員)　　(単位:人)

会計別	H24 (A)	H23 (B)	差引 (A)−(B)
一般会計	568	594	△ 26
特別会計	40	39	1
企業会計	586	563	23
全会計合計 ①	1,194	1,196	△ 2
うち医局・薬局・看護局 ②	509	485	24
差引(①−②)	685	711	△ 26

※広域連合派遣を含まない(H23:5人→H24:5人)

※特別職は含まない

(参考) 昭和54年4月1日当時の全会計合計職員数 2,439人(①に相当)

資料(4) 建設事業費(全会計)

(単位:百万円、%)

会計名		平成24年度 (A)	平成23年度 6月補正後 (B)	比較増△減 (A−B)=(C)	伸率(%) (C)/(B)	主な増減内訳
一般会計		3,231	2,637	594	22.5	
	工事請負費	3,141	2,637	504	19.1	旧し尿処理場解体 88 舟見町市営住宅建設 △273 寿町市営住宅建設 543 室蘭西中学校建設 372 桜蘭中学校整備 △268
	公有財産購入費	90		90	皆増	市営住宅共同浴場
企業会計		1,657	1,800	△ 143	△ 7.9	
	工事請負費	1,009	1,450	△ 441	△ 30.4	病棟・外来再編事業 △150 病院高度治療室併設救急外来拡充 △181 MRI装置増設工事 35 下水合流改善事業 △147 中島下水ポンプ場改築 △92
	下水道事業団委託	648	350	298	85.1	蘭東下水処理場各種改修 293 輪西汚水中継ポンプ場耐震診断 5
合 計		4,888	4,437	451	10.2	
	工事請負費	4,150	4,087	63	1.5	

資料(5) 特別・企業会計等

① 一般会計からの繰出金等

(単位:百万円)

会計名		平成24年度 (A)	平成23年度 6月補正後 (B)	差引 (A−B)
特別会計等	国民健康保険	881	885	△ 4
	介護保険	990	924	66
	後期高齢	326	301	25
	後期高齢広域連合	1,241	1,197	44
	(小計)	3,438	3,307	131
企業会計	水道	10	11	△ 1
	病院	1,400	1,312	88
	市場	84	70	14
	下水道	1,049	989	60
	(小計)	2,543	2,382	161
合計		5,981	5,689	292
特定財源		495	472	23
一般財源		5,486	5,217	269

② 不良債務等（累積資金収支不足額）

（単位：百万円）

会計名		平成24年度		平成23年度		平成22年度
		見込（A）	（A－B）	見込（B）	（B－C）	決算（C）
土地以外の事業	病院		△ 143	143	△ 152	295
	下水道	2,455	△ 180	2,635	△ 390	3,025
	（小計）	2,455	△ 323	2,778	△ 542	3,320
土地事業	港湾	3,878	△ 31	3,909	△ 126	4,035
	（小計）	3,878	△ 31	3,909	△ 126	4,035
合計		6,333	△ 354	6,687	△ 668	7,355

※平成23年度・平成24年度は「実見込」であるため、予算書と金額が異なる

※土地事業は「完成土地を控除する前の資金収支不足額」を表す

（参考） 公社の要買戻し額

（単位：百万円）

公社名	平成24年度		平成23年度		平成22年度
	見込（A）	（A－B）	見込（B）	（B－C）	決算（C）
振興公社	463	△ 231	694	△ 373	1,067
土地開発公社	3,367	△ 138	3,505	△ 150	3,655
合計	3,830	△ 369	4,199	△ 523	4,722